

# はじめに

この「戸田市の消防」は、令和2年度消防防災・震災対策現況調査を中心として消防現勢及び過去の消防業務について収録し、消防行政の運営の指針とするとともに、広く一般に公開するために編集したものです。

収録の統計資料は、原則として令和2年4月1日をもって表していますが火災件数・救急件数等については暦年によるものです。

令和3年4月  
戸田市消防本部

# 目次

戸田市民憲章	1
戸田市消防訓	2
戸田市の概要	3
消防機関配置図	4
戸田消防の沿革	5

## 総務編

1. 消防の予算	1 5
2. 消防組織	1 6
3. 現有勢力	1 9
4. 職員教育	2 3
5. 消防相互応援協定	2 4

## 施設編

1. 消防施設概要	2 5
2. 消防車両等の保有状況	2 6
3. 通信施設	2 8
4. 119番受信状況	2 9
5. 緊急連絡システム	3 0
6. 火災等情報案内（テレドーム）	3 1
7. 気象状況	3 1
8. 消防水利	3 2

## 火災編

1. 火災概況	3 3
2. 火災の推移	3 9

## 予防編

1. 防火対象物	4 1
2. 建築同意状況	4 5
3. 戸田市火災予防条例等による届出状況	4 6
4. 防火対象物定期点検報告	4 6
5. 市民防災教室利用状況	4 7
6. 危険物施設	4 8
7. 危険物規制事務	5 0
8. 高圧ガス施設等	5 1

## 救急編

1. 救急行政の現状	5 3
2. 救急出場状況	5 3
3. 救命講習実施状況	5 6

## 救助編

1. 救助体制	5 7
2. 救助出動状況	5 7
3. 救助出動の推移	6 0
4. 消防本部保有資機材	6 2

## 消防団編

1. 消防団の現況	6 3
2. 団員年齢・勤続年数・職業	6 4
3. 出動状況	6 5
4. 団員報酬	6 6
5. 消防団受持区域	6 7
6. 歴代消防団長	6 8

写真編	6 9
-----	-----

市のシンボル	7 8
--------	-----

# 戸田市民憲章

わたくしたちは、豊かな荒川の流れと、うるわしい武蔵野の大地をふるさととする戸田市民です。

わたくしたちは、このまちに誇りと責任をもち、夢と希望のある戸田市をつくるため、この憲章をさだめます。

わたくしたち戸田市民は

心をみがき、体をきたえましょう

明るくうるおいのある家庭をつくりましょう

話し合い、助け合いの輪をひろげましょう

自然をまもり、すみよい環境をつくりましょう

教養と文化をたかめ、みのりを未来にのこしましょう

(昭和54年11月3日制定)



(戸田ボートコース)

# 戸田市消防訓

わたくしたち消防人は、伝統ある消防精神を重んじ、消防の誇りと責任をもって市民の負託に応えるため、ここに消防訓を定めます。

- 一、一致協同し市民の信頼と期待に応えましょう。
- 一、常に研さん努力し市民の信頼と期待に応えましょう。
- 一、健康を保持し市民の信頼と期待に応えましょう。
- 一、不とう不屈の精神で市民の信頼と期待に応えましょう。
- 一、奉仕の心を養い市民の信頼と期待に応えましょう。

(平成元年9月16日制定)



(消防本部庁舎)



(東部分署庁舎)



(西部分署庁舎)

# 戸田市の概要

## ① 位置及び面積

戸田市は、関東平野のほぼ中央、埼玉県南東部に位置し荒川左岸に発達した沖積低地にあり東京都に接しています。荒川は戸田市の西部では北西から南東へ、南部では武蔵野台地の縁に沿ってほぼ西から東へ流れおり、戸田市の西と南をL字状に二方を囲んでいます。

市域は東西7.2km、南北3.9km、総面積18.19km<sup>2</sup>を有しています。

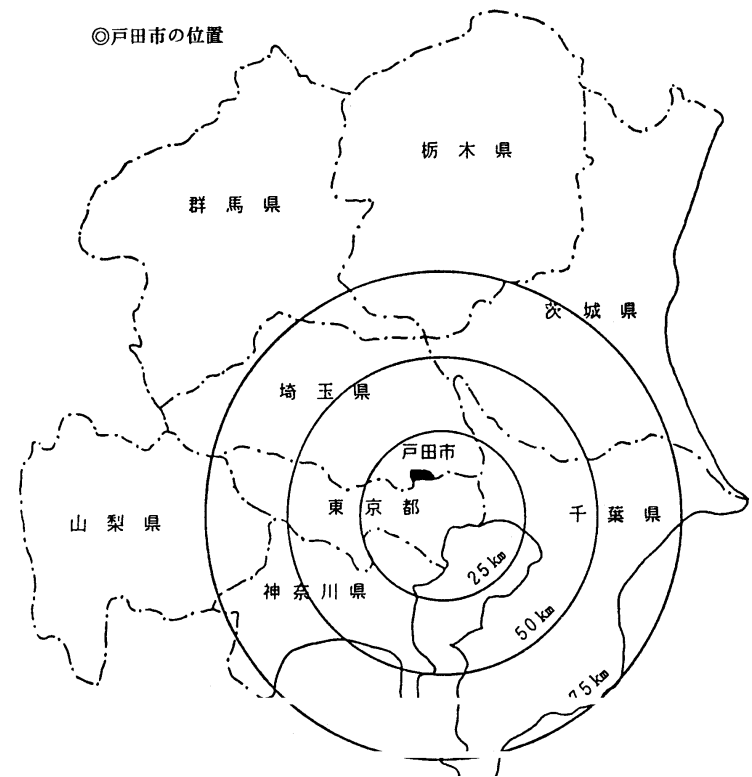
## ② 地 勢

戸田市は、平たんな地形で、古く荒川の影響を受けて発展してきました。又、荒川に沿って日本一と言われる静水の漕艇競技場である戸田ボートコースが東西に2,500m延びております。

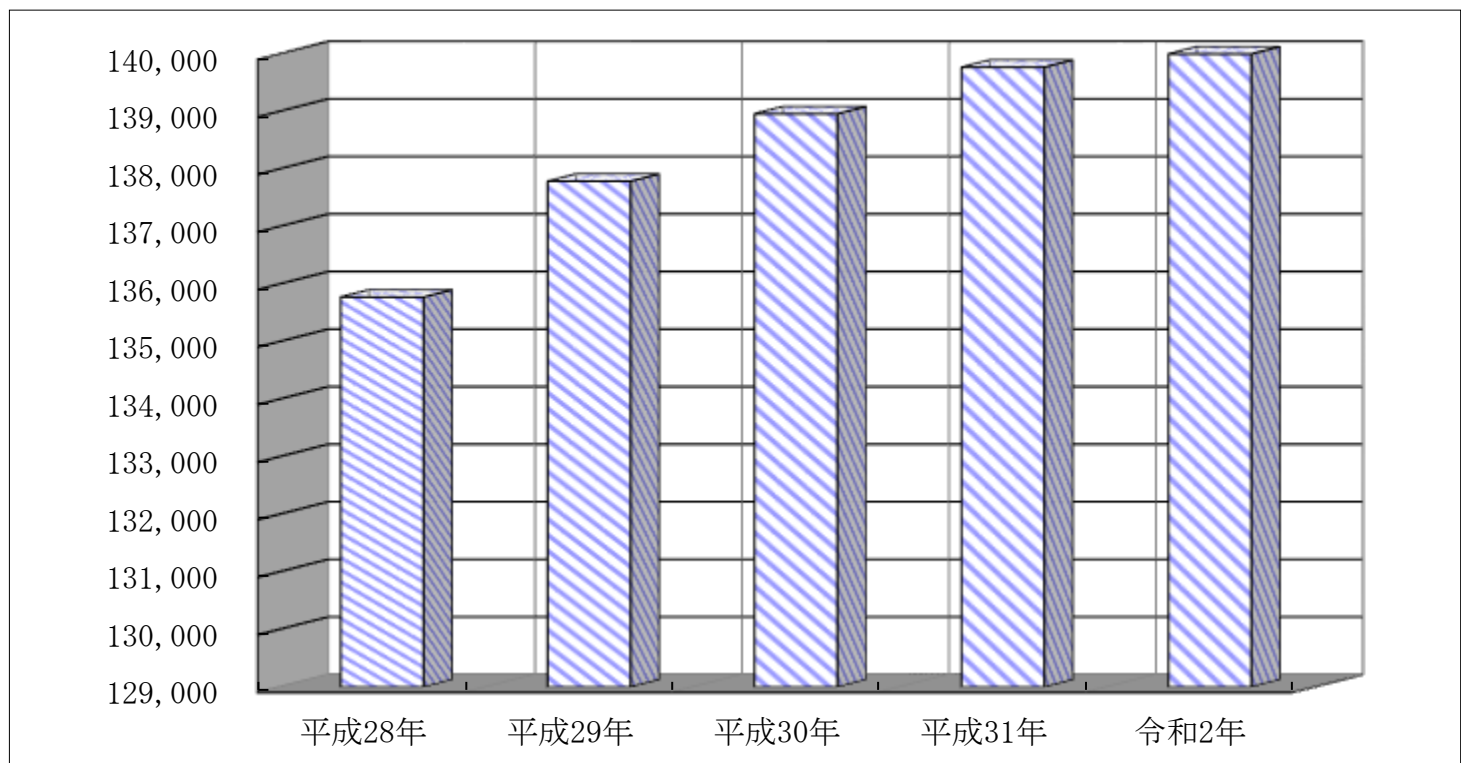
## ③ 人口と世帯（令和2年4月1日現在）

人 口 140,645人

世 帯 66,180世帯です。



人口の推移（過去5年）



# 消防機関配置図



本：消防本部・消防署  
 東：東部分署  
 西：西部分署  
 1：第1分団  
 2：第2分団  
 3：第3分団  
 4：第4分団  
 5：第5分団  
 6：第6分団  
 7：第7分団

大字新曾 1 8 7 5 - 1  
 下前 1 - 1 4 - 2 0  
 笹目 5 - 9 - 1  
 下前 1 - 1 4 - 5  
 新曾南 2 - 1 2 - 2 7  
 本町 2 - 8 - 8  
 中町 1 - 2 1 - 1  
 川岸 2 - 6 - 1 8  
 笹目 3 - 8 - 6  
 美女木 2 - 2 2 - 6

# 戸田消防の沿革

明治17年	5月24日	埼玉県は「町村之連合」要領を告示し、戸田地域は上戸田村連合、美女木村連合になる。
明治22年	4月25日	市町村制施行で上戸田村連合・美女木村連合は解体し、戸田村・美谷本村・笹目村になる。 美女木村、内谷村、曲本村、松本新田が合併し美谷本村となる。(5月、秋本康怒氏初代名誉村長に就任) 下笹目村、惣右衛門村が合併し、笹目村となる。(5月、江口常次郎氏初代名誉村長に就任) 上戸田村、下戸田村、新曾村が合併し、戸田村となる。(合併当時官選村長、室本喜平氏着任)
	9月	9月11日からの暴風雨のため戸田橋付近増水5.1mとなり、床上浸水多数。
明治23年	8月22日	大風雨で荒川増水し水害が出る。(美谷本-浸水32、笹目-浸水70、戸田-浸水63)。
明治24年	4月	戸田村長に金子良平氏就任する。
明治25年	8月	荒川増水5.1m、床上浸水多数。
明治27年	2月	戸田村消防組結成される。組頭、小頭、消防手の階級に別し警察の補助機関。
明治29年	9月	荒川増水(戸田橋付近で6.6mになり被害甚大)。
明治31年	9月	風水害(美女木-浸水44、流破壊2、笹目-浸水37、戸田-浸水63)。
明治40年	8月24日	暴風雨により利根川、荒川など大洪水。
明治41年	1月14日	成美尋常小学校(現美谷本小)火災。
明治43年	8月10日	2日~20日まで降雨、利根川、荒川筋堤防決壊、極めて被害甚大となる。
明治44年	2月	戸田村長に飯島雄之助氏就任する。
大正元年	10月25日	笹目村長に江口文助氏就任する。
大正10年	11月29日	美谷本村長に峯岸倉吉氏就任する。
大正12年	9月1日	関東大震災(戸田-全壊264、半壊237、死傷者2、美谷本-全壊145、半壊86、死傷者8、笹目-全壊18、半壊6)。
昭和11年	6月17日	戸田村長に植野助右衛門氏就任する。
昭和14年	4月1日	1月勅令第20号警防団令公布施行により、消防組を改組し、戸田村警防団発足する。 組織5分団。
	9月1日	第二次世界大戦開戦。
昭和16年	6月1日	戸田村、町制施行。(町長代理助役、清水民之助氏)。
	6月18日	戸田町制施行により、戸田町警防団となる。
昭和17年	2月28日	戸田町長に金子庄五郎氏就任する。
昭和18年	4月1日	笹目村、美谷本村合併、美笹村となる。(11.55㎡) 美笹村長職務官掌に山脇徳四郎氏就任する。
	5月30日	美笹村長に黒沢三郎氏就任する。
	6月18日	戸田町長に荘武左衛門氏就任する。
昭和20年	3月4日	川岸地区(戸田橋わき)1トン爆弾4発投下死者女性のみ6人。
	4月9日	下戸田喜沢地区に焼夷弾投下される。被害なし。
	4月13日	空襲により道満河岸に焼夷弾投下され、死者2人、全焼3戸を出す。
	5月25日	美女木修行目に焼夷弾投下され全焼3棟、人員被害なし。
	5月26日	新曾(下町~馬場)地区に焼夷弾投下される。死者1名、負傷者1名、20世帯類焼する。
	7月27日	上戸田地区焼夷弾投下。全焼1、半焼1。
	8月10日	下戸田喜沢地区、機銃掃射により1人負傷。
	8月15日	終戦。
昭和21年	4月29日	戸田町長に石井正徳氏就任する。
昭和22年	4月5日	美笹村長に中村直治氏当選(公選初代)。
	4月6日	戸田町長に池上条治氏当選(公選初代)。
	9月15日	キャスリン台風による荒川洪水。(戸田-浸水76、美笹-浸水122、流破壊37)。
	10月1日	戸田町警防団を改組し、自治体消防戸田町消防団となる。
	12月23日	消防組織法(法律第226号)が公布される。
昭和23年	4月26日	戸田町長に吉岡光三氏就任する。
	7月24日	消防法(法律第186号)が公布される。
昭和24年	4月	戸田町消防本部設置条例(昭和24年条例第56号)を施行し、戸田町役場(庶務課)

		内に事務本部を置く。
昭和25年	5月 1日	戸田町長に金子得氏就任する。
昭和26年	4月10日	美笹村長に霜田米三郎氏就任する。
	3月31日	戸田町消防長に熊木秀吉氏就任する。(非常勤)
	5月 1日	戸田町長に武内勇助氏就任する。
昭和28年	11月10日	美笹村消防団改編式(3消防団245人を2消防団26人で機械化)。
昭和30年	11月 1日	戸田町消防団を改め戸田町連合消防団と改組(団長は消防長、熊木秀吉氏が兼務)。
昭和32年	8月 1日	戸田町長に金子庄五郎(金子得改名)氏就任する。
	6月12日	戸田町連合消防団長、熊木秀吉氏退団する。
	6月13日	戸田町連合消防団長に神保湖之吉氏就任する。
	7月20日	美笹村、戸田町合併。第6団、第7団が加わる。
昭和33年	9月18日	台風21号で県下暴風雨、荒川、芝川洪水で川口市、戸田町など低地一体が浸水。
	9月28日	台風22号(狩野川台風)により戸田町浸水(床上600戸、床下1,200戸)、災害救助法が適用され自衛隊出動。
昭和35年	4月 1日	戸田町消防長に神保湖之吉氏就任する(非常勤)。神保湖之吉氏退団に伴い連合消防団長に宮永守雄氏就任する。
昭和36年	9月	戸田町消防団常備部を戸田町大字下戸田13番地に設ける。
	7月31日	連合消防団長、宮永守雄氏退団する。
	12月 2日	連合消防団長に熊本市五郎氏就任する。
昭和37年	8月23日	美笹中学校(木造2階建)校舎全焼。
昭和38年	7月31日	戸田町長に野口政吉氏就任する。
	10月 1日	戸田町連合消防団制を改め戸田町消防団と改組(7団ある消防団を各分団に改める)。改組に伴い連合消防団長から消防団長に熊本市五郎氏就任する。
昭和40年	12月22日	戸田第2小学校火災(4教室焼失)。
	3月31日	戸田町消防団常備部を廃止する。
	4月 1日	戸田町消防本部、消防署を戸田町大字下戸田13番地に設ける。消防長、神保湖之吉氏署長兼務。消防職員定数22名。
	8月 1日	消防長補佐、消防署長に斎藤初雄氏就任する。
昭和41年	10月25日	戸田町消防本部、消防署新庁舎落成(鉄筋2階建639.92㎡)。
	4月 1日	消防職員定数26名。
	6月27~28日	台風4号、災害救助法発動(浸水4,795、負傷者2)。
	9月24~25日	台風26号(浸水1,315、破壊9、負傷者2)。
	9月27日	消防職員定数30名。消防団定数103名。
	10月 1日	戸田市制施行、戸田市消防本部、消防署、消防団となる。消防署に救急車配置(トヨタマスターライン)、救急業務開始。
昭和42年	3月	日本消防協会より竿頭授受賞 戸田市消防団
	4月 1日	消防職員定数31名。住居表示施行により、本部、署の地番が戸田市下前1丁目14番20号となる。
	10月30日	戸田市消防署に化学車配置(いすゞTXG-20型)。超短波無線設置、基地局1、移動局1(化学消防車)、携帯局13(消防署、消防団)。
	11月 3日	第3分団器具置場新築(木造平屋75.35㎡)及び普通ポンプ車(損保号ニッサンFR-40型)更新。
昭和43年	4月 1日	消防職員定数46名。
	12月27日	第1分団普通ポンプ車更新(ニッサンFR-40型)、第6分団器具置場移転新築(木造平屋75.35㎡)。
昭和44年	5月31日	戸田市消防団長、熊本市五郎氏逝去。
	6月 1日	消防本部、消防署組織改正。
	6月28日	戸田市消防団長に小山徳次氏就任する。
昭和45年	12月26日	第5分団及び第6分団普通ポンプ車更新(ニッサンFR-40型)。
	1月 9日	超短波無線移動局2局増設(救急車、消防車)。
	4月 1日	消防職員定数49名。
	7月11日	第1分団器具置場新築(鉄筋3階建192.16㎡)。
昭和46年	10月 1日	消防職員定数70名。
	2月13日	西部分署起工式。
	3月 2日	西部分署に水槽付消防ポンプ車配置(ニッサンFS-780型)。
	3月16日	西部分署に救急車配置(ニッサンエコー)。
	3月27日	第5分団器具置場新築(木造2階建82.81㎡)。
	9月 1日	台風23号8月31日午後から9月1日未明にかけて関東南部に襲来。(床上浸水4



		1、床下浸水657)。
	9月 1日	西部分署、戸田市下笹目2,576番地に落成(鉄筋3階建459.02㎡)。 本署、分署に監視用テレビカメラ設置。
	9月14日	第7分団器具置場新築(木造2階建94.90㎡)。
昭和47年	12月 7日	消防署にポンプ車配置(トヨタFC-100型)。
	3月 1日	消防庁長官より竿頭綬を受賞 戸田市消防本部・戸田市消防団
	4月29日	元戸田市消防団第4分団長、金子清太郎氏、勲七等旭日章受章。
	6月 1日	消防本部司令車更新(ニッサンセドリック)。
	7月17日	消防署に総合気象観測装置設置。
	10月 9日	消防職員定数76名。
	10月25日	超短波無線基地局1局(西部分署)、移動局2局(梯子車、司令車)増設。
	11月14日	本署に指揮車配置(寄贈 ニッサンキャブスター)。
	11月15日	本署に32m梯子車配置(日野TC-311型)。
昭和48年	12月29日	消防庁舎増改築工事着工。
	1月22日	消防防災用広報設備設置。
	2月23日	救助艇用エンジン3台配置(ヤマハP-5、5A-L)。
	7月31日	消防庁舎増改築工事落成(鉄筋3階建487.96㎡)。
	9月18日	赤バイ配置(ホンダドリーム350cc)。
	10月 3日	消防職員定数81名。
	10月22日	火災・救急通信指令装置(B級)新設、通信指令室業務開始。
昭和49年	12月18日	赤バイ配置(寄贈 ホンダドリーム500cc)。
	2月 9日	野口政吉市長逝去。
	3月 1日	戸田市長に斎藤純忠氏就任する。
	3月30日	本署水槽付消防ポンプ車更新(日野KL-300型)。
	4月 1日	戸田市消防本部及び消防署の機構改革実施。課制施行。
	12月24日	バイク2台配置(寄贈 ホンダC50)。
昭和50年	12月25日	西部分署に査察車配置(寄贈 ホンダステップバン)。
	2月28日	第2分団普通ポンプ車配置(いすゞG201FA)。
	7月22日	元戸田市消防団副団長、富沢恒太郎氏、死没叙勲、勲六等単光旭日章受章。
	8月 1日	消防本部次長斎藤初雄氏市長部局出向、市長部局から消防本部次長に小川孝孔氏就任する。
昭和51年	12月23日	広報連絡車配置(寄贈 ニッサンブルーバードUBAN)。消防職員定数84名。
	3月 2日	救助艇用エンジン2台配置(トーハツB18C型12PS)。
	3月10日	消防用サイレン吹鳴装置設置(第2分団)。
	10月10日	消防用サイレン吹鳴装置設置(第4分団、第7分団)。
	11月30日	消防本部に非常用発電機設置(PDG-40 出力35KVA 200V)。
	12月 1日	救急車更新(ニッサンキャラバン)。
	12月13日	広報連絡車配置(ニッサンキャラバン)。
	12月22日	消防職員定数98名。
昭和52年	12月24日	連絡車配置(寄贈 ホンダシビックバン)。
	3月30日	西部分署にバイク配置(ホンダC50)。
	8月	集中豪雨に見舞われる(床上浸水17、床下浸水177、道路冠水120)。
	8月18日	第4分団中町宿舎増築(木造2階建34.64㎡)。
	10月14日	戸田南小学校火災(1教室焼失)。
	11月30日	西部分署に広報連絡車配置(ニッサンブルーバード)。
	12月23日	本署に化学車配置(三菱FK-115F型)。
昭和53年	12月24日	超短波無線移動局3局増設(ニッサンブルーバード、ホンダシビックバン、化学車)。
	1月30日	119番同時録音装置設置。
	1月31日	西部分署に非常用発電機設置(ZX-75P3BS出力65KVA200V)。
	2月25日	消防用サイレン吹鳴装置設置(第3分団、第5分団)。
	4月29日	消防長、神保湖之吉氏、勲五等双光旭日章受章。
	9月 1日	資機材運搬車配置(寄贈 三菱トラック)。
	9月26日	消防職員定数115名。
昭和54年	1月17日	消防用サイレン吹鳴装置設置(西部分署)。
	3月13日	救急車更新(トヨタハイエース)。
	3月29日	救助工作車配置(いすゞFCR-370型)。
	4月15日	消防長神保湖之吉氏退任。
	7月 1日	戸田市消防長に廣田米雄氏就任する。

	8月18日	消防署指揮車更新（三菱J36型）。
昭和55年	11月3日	元戸田市消防団副団長、細野義信氏、勲六等瑞宝章受章。
	2月12日	消防署水槽付ポンプ車更新（いすゞFCR-370型）。
	3月5日	消防庁長官より表彰旗を受賞 戸田市消防本部・戸田市消防団
	3月28日	消防署に訓練塔（鉄骨A塔H=17m、B塔H=10m）及び車庫（鉄骨スレート平屋建119.64㎡）落成。
	4月1日	消防本部次長小川孝孔氏市長部局出向。
	5月29日	消防本部司令車更新（トヨタクラウン）。
昭和56年	10月13日	西部分署に水槽付消防ポンプ自動車配置（いすゞFCR-370型）。
	11月29日	第4分団普通ポンプ車更新（ニッサンJ-FG160型）。
	3月25日	西部分署増築工事落成（鉄骨2階建169.98㎡）。
	10月30日	消防署に救急5号車配置（寄贈 ニッサンキャラバン）。
昭和57年	11月27日	消防署に救助艇配置（船体ヤマハP-17CRDX、エンジンヤマハ55BEL）。
	11月30日	消防署救急1号車更新（ニッサンキャラバン）。
	7月20日	「救急の日（9月9日）」及び「救急医療週間」が制定される。
	9月12日	戸田市少年消防クラブ発足（56名）。
	9月27日	戸田市消防団条例一部改正、消防団員定数「103人から94人に」
昭和58年	12月15日	消防本部査察車更新（三菱ミニキャブ）。
	12月17日	西部分署に水槽付消防ポンプ自動車配置（いすゞK-SDR370型）。
	2月28日	第3分団普通ポンプ車更新（いすゞTLD46型）。
	3月30日	第2分団詰所兼新曾宿舍新築（鉄骨ALC造2階建128.88㎡）。
	11月10日	第1分団普通ポンプ車更新（三菱P-FE144B型）。
	11月16日	消防本部査察車更新（ニッサンダットサンバン）。
	11月29日	換地処分により、西部分署の地番が戸田市笹目5丁目9番地の1となる。
	12月1日	戸田市防火基準適合表示要綱施行。
昭和59年	12月17日	消防署に大型水槽車配置（ニッサンディーゼルK-CV45L型）。
		可搬ポンプ積載車更新（いすゞP-KT26型）。
	12月23日	消防本部に連絡車配置（寄贈 トヨタスターレット）。
	5月31日	消防本部にバイク配置（寄贈 スズキジェンマ）。
	11月3日	元戸田市消防団第5分団長、高橋森造氏、勲六等単光旭日章受章。
昭和60年	11月27日	消防本部広報連絡車更新（財団法人日本防火協会より寄贈 トヨタハイエース）。
	11月29日	西部分署救急3号車更新（トヨタハイエース）。
	2月8日	西部分署にバイク配置（ホンダタクトフルマーク）。
	3月27日	救急波複信用設置（基地局1、移動局4）。
	3月28日	第5分団及び第6分団普通ポンプ車更新（三菱P-FE144B型）。
	9月30日	埼京線開通。
昭和61年	11月3日	元戸田町消防団副団長、駒崎嘉一郎氏、勲六等単光旭日章受章。
	12月2日	西部分署広報連絡車更新（トヨタコロナ）。
	2月6日	消防本部消防総合通信指令システム（II型）更新。
	3月28日	消防署水槽付ポンプ自動車更新（三菱P-FK416F型）。
昭和62年	4月23日	消防本部に庶務連絡車配置（寄贈 ニッサンサニー）。
	5月28日	消防本部司令車更新（トヨタクラウン）。
	3月25日	第3分団詰所兼本町宿舍新築（鉄骨ALC造2階建132.75㎡）。
	4月30日	戸田市消防団長、小山徳次氏退団する。
	5月1日	戸田市消防団長に武内福男氏就任する。
	8月1日	消防本部署機構改革実施。
	9月4日	消防テレホンサービス、地図検索装置新設。
	9月16日	「119番の日（11月9日）」が制定される。
昭和63年	11月30日	第7分団普通ポンプ車更新（三菱P-FE335Dパワーゲート付）。
	1月10日	戸田市自治体消防制度発足40周年記念式典。
	3月31日	第4分団詰所兼中町宿舍新築（鉄骨ALC造2階建134.82㎡）。
		戸田市消防長廣田米雄氏退職。
	5月1日	戸田市消防長に秋元金一郎氏就任する。
平成元年	9月6日	西部分署資材運搬車更新（三菱P-FE305Bパワーゲート付）。
	3月30日	消防署に救急6号車配置（寄贈 ニッサンキャラバン）。
	3月31日	第6分団詰所兼笹目宿舍新築（鉄骨ALC造2階建135.28㎡）。
	6月28日	消防本部新庁舎起工式。
	9月16日	戸田市消防訓制定。

	10月 5日	西部分署に15m梯子車配置(三菱FK417E型)。	
	11月 3日	元戸田市消防本部警防課長、須永實氏、勲六等単光旭日章受章。	
	11月13日	消防署指揮車更新(ニッサンローレル)。	
	11月17日	全国火災予防運動の実施期間の見直し。 春季全国火災予防運動3月1日～3月7日。 秋季全国火災予防運動11月9日～11月15日。	
平成2年	12月13日	消防署化学車更新(三菱P-FK417型)。	
	3月31日	戸田市消防長秋元金一郎氏退職。	
	3月31日	消防団員の定年制を導入する。	
	4月29日	元戸田市消防団副団長、細田善七氏、勲六等単光旭日章受章。	
	5月 1日	戸田市消防長に山岡茂夫氏就任する。	
	9月30日	消防本部新庁舎竣工。	
	11月 1日	消防本部新庁舎業務開始。 消防署東部分署発足。	
	11月27日	首都高速道路開通(戸田南ランプ～高島平ランプ)。	
	12月 6日	消防本部新庁舎落成式。 市民防災教室公開。	
	平成3年	12月18日	第2分団普通ポンプ車更新(三菱U-FE337Bパワーゲート付)。
3月31日		戸田市消防団長、武内福男氏退団する。	
4月 1日		戸田市消防団長に秋元利夫氏就任する。	
4月23日		救急救命士法(法律第36号)が公布される。	
9月18日		台風18号による集中豪雨。(床上浸水43、床下浸水89、河川溢水5、道路冠水71)。	
平成4年	10月14日	消防署梯子車更新(35m・三菱U-FU416N)。	
	12月24日	消防署水槽付ポンプ自動車更新(日野U-GD3HGA改)。	
	2月20日	西部分署救急3号車更新(トヨタハイエース)。	
	3月31日	戸田市消防団長、秋元利夫氏退団する。	
	4月 1日	戸田市消防団長に石田昭三氏就任する。	
	4月23日	消防本部に庶務連絡車配置(寄贈 ホンダレジェンド)。	
	10月30日	消防本部査察車更新(ニッサンラルゴバン)。	
	11月 1日	高速道路救急隊発足。	
平成5年	11月27日	東京外環自動車道路開通(三郷～和光)。	
	1月18日	消防署に救急車配置(寄贈 トヨタハイエース)。	
	2月17日	消防署に救助工作車更新(日野U-GD3HGA改)。	
	3月29日	東部分署救急2号車更新(ニッサンキャラバン)。	
	3月31日	戸田市消防長山岡茂夫氏退職。	
	3月31日	戸田市消防団長、石田昭三氏退団する。	
	4月 1日	戸田市消防団長に金子富男氏就任する。 消防職員定数 139名。	
	5月 1日	戸田市消防長に恩田祐二氏就任する。	
	9月 1日	七都縣市合同防災訓練が埼玉会場として戸田市において開催される。	
	10月29日	消防本部査察車更新(トヨタカローラ1500バン)。	
平成6年	11月 3日	元戸田市消防団長、武内福男氏、勲五等瑞宝章受章。	
	11月 5日	第4分団普通ポンプ車更新(三菱U-FE337Bパワーゲート付)。	
	11月29日	戸田市自治体消防制度発足45周年記念式典。	
	3月31日	戸田市消防長恩田祐二氏退職。	
	5月 1日	戸田市消防長に瀬川岩男氏就任する。	
	7月21日	第5分団詰所兼宿舍及び単身者用宿舍(川岸宿舍)新築(鉄骨ALC造2階建246.791㎡)。	
	11月11日	西部分署普通ポンプ車更新(三菱FK618E)。	
	11月17日	阪神淡路大震災発生。	
平成7年	3月15日	第7分団詰所兼消防職員待機宿舍新築(鉄骨ALC造2階建139.48㎡)。	
	9月 5日	災害支援車導入に伴い、消防庁の緊急消防援助隊の登録に基づき緊急消防援助隊登録。	
	9月25日	消防本部火災現場指揮車更新(ニッサンE-FEGE24)。	
	平成8年	2月 7日	災害支援車配置(日野KC-FT1JHBA)。
		3月15日	災害救助工作車配置(日野KC-FT1JHBA)。
3月26日		東部分署旧庁舎解体・車庫新設(鉄骨ALC建1階270㎡)、車庫シャッターに防火イラスト画を採用する。	

	3月29日	緊急消防援助隊要綱（平成7年10月31日施行）に規定する埼玉県 <small>の</small> 緊急消防援助隊編成に後方支援部隊として、戸田市1隊登録される。
	5月28日	広報連絡車更新（ニッサンE-KAJC23）。
	11月1日	東部分署水槽付ポンプ自動車増車（水1,5001）。
	11月3日	元戸田市消防団第3分団長、小山伊三郎氏、勲六等瑞宝章受章。
平成9年	12月27日	消防本部司令車更新（トヨタクラウンE-JZS151）。
	3月26日	戸田市少年消防クラブ、全国少年消防クラブ運営指導協議会より優良少年消防クラブ表彰旗を授与される。
	3月30日	第1分団詰所兼災害待機所新築（鉄骨ALC造2階建163.14㎡）。
	3月31日	戸田市消防団長、金子富男氏退団する。
	4月1日	戸田市消防団長に大貫清明氏就任する。
	4月29日	元戸田市消防団長、秋元利夫氏、勲六等単光旭日章受章。
	6月1日	戸田市応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱を施行する。
	9月24日	市議会に広域行政等推進特別委員会設置、委員12名。
	9月30日	西部分署災害支援用品保管庫兼車庫新築（100㎡）。
	11月3日	元戸田市消防団長、石田昭三氏、勲六等単光旭日章受章。
	11月19日	西部分署指揮車更新（マツダE-GV8W SX）。
平成10年	11月27日	西部分署水槽付ポンプ自動車更新（日野KC-FD1JEB A オートT/M）。
	1月24日	第3分団普通ポンプ車更新（三菱KC-FE568B改）。
	3月20日	消防無線機基地局等改修、全国共通波2波増波する。
	3月30日	斎藤純忠氏、6期24年市長を勤め引退する。
	3月31日	戸田市長に神保国男氏就任する。
	4月29日	元戸田市消防副団長、奥墨良治氏、勲六等単光旭日章受章。
	5月1日	戸田市消防署組織規程の一部改正により救助隊が東部分署へ。
	5月18日	高速埼玉大宮線、戸田市美女木と与野市与野の8km区間開通する。
	6月6日	荒川左岸水害予防組合水防演習、彩湖・道満グリーンパークにて行われる。
	9月30日	和光市消防本部の組合移行に伴い、和光市との消防相互応援協定締結廃止。
	10月22日	第1分団普通ポンプ自動車更新（三菱KC-FE568B改）。
	10月28日	可搬ポンプ積載車更新（いすゞKC-NPR70LYR）。
平成11年	3月12日	高規格救急自動車導入（トヨタGB-VCH32S）。
	4月1日	戸田市行政手続条例施行。
	5月1日	高規格救急自動車運用開始。
	6月1日	高規格救急自動車への救急医療機関体験試乗実施。
	8月1日	戸田市情報公開条例、戸田市個人情報保護条例施行。
	8月1日	正午のサイレン吹鳴中止。
	11月12日	資機材運搬車更新（三菱KK-FE50EB）。
	11月24日	小型動力ポンプ付水槽車更新（日野KC-FR2PLEA）。
平成12年	3月31日	戸田市消防団長、大貫清明氏退団する。
	4月1日	戸田市消防団長に春山庄一郎氏就任する。
	5月24日	県防災航空隊の協力による患者搬送訓練を実施する。
	6月23日	患者等搬送事業者の第1号を認定する。
	7月14日	関東地区救助技術指導会が戸田市で開催される。
	7月19日	戸田市建設業協会より可搬式消防ポンプ（シバウラSF656M）を寄贈される。
	10月30日	第5分団普通ポンプ自動車更新（三菱KK-FE53EB改）。
	10月30日	第6分団普通ポンプ自動車更新（三菱KK-FE53EB改）。
平成13年	3月31日	戸田市消防長、瀬川岩男氏退職する。
	3月31日	戸田市消防団長、春山庄一郎氏退団する。
	4月1日	戸田市消防長に長谷川明邦氏就任する。
	4月1日	戸田市消防団長に杉崎繁雄氏就任する。
	4月1日	組織機構の改正による主幹制の全面実施。
平成14年	1月8日	本署水槽付ポンプ自動車更新（三菱KK-FK61HE改）。
	3月4日	東部分署高規格救急自動車更新（トヨタGE-VCH32S）。
	3月31日	戸田市消防団長、杉崎繁雄氏退団する。
	4月1日	戸田市消防団長に萩原正秋氏就任する。
	4月1日	戸田市消防署組織規程の一部改正により、本署、東部分署、西部分署の消防力の平均化と、消防署組織の規模に応じた指揮命令系統の見直しを実施。
	4月29日	元戸田市消防団長、金子富男氏、勲五等瑞宝章受章。
	6月1日	荒川左岸水害予防組合水防演習、彩湖・道満グリーンパークにて行われる。

平成15年	2月 1日	消防緊急通信指令システム更新。
	3月 6日	西部分署高規格救急自動車更新（トヨタTC-VCH32S）。
	3月31日	戸田市消防長、長谷川明邦氏市長部局出向。
	4月 1日	戸田市消防長に堀内正夫氏就任する。
	5月30日	庶務連絡車更新（マツダUA-DY3W）。
	6月12日	元戸田市消防団長、小山徳次氏、死没叙勲、勲五等双光旭日章受章。
	8月15日	戸田市火災予防査察規程、戸田市火災予防違反処理規程を施行する。
	11月 4日	第7分団普通ポンプ自動車更新（いすゞKR-NKR81GN）。
平成16年	3月31日	戸田市消防長、堀内正夫氏退職する。
	4月 1日	戸田市消防長に中村善太郎氏就任する。
	4月 1日	消防組織法改正により、緊急消防援助隊が法制化され施行となる。
	9月17日	武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律（法律第112条）が施行される。
平成17年	10月23日	新潟県中越地震発生。
	10月24日	緊急消防援助隊後方支援部隊として新潟県小千谷市に派遣。
	2月28日	西部分署庁舎耐震補強工事が完了する。
	3月31日	戸田市消防長、中村善太郎氏退職する。
	3月31日	戸田市消防団長、萩原正秋氏退団する。
	4月 1日	戸田市消防長に川端嘉治氏就任する。
	4月 1日	戸田市消防団長に大沼一哉氏就任する。
	4月29日	元戸田市消防副団長、永井日出男氏、春の叙勲瑞宝単光章受章。
	4月29日	元戸田市消防司令、奥墨富雄氏、第4回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章。
	6月25日	荒川左岸水害予防組合水防演習、彩湖・道満グリーンパークにて行われる。
	11月 3日	元戸田市消防司令、木村通氏・坂田肇氏・荘野精康氏、第5回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章。
平成18年	11月10日	消防署指揮車更新（トヨタCBA-AZT241W）。
	2月 8日	本署高規格救急自動車更新（トヨタTC-VCH32S）。
	2月10日	消防本部査察車更新（ニッサンTC-SK82VN）。
	3月31日	戸田市消防長、川端嘉治氏退職する。
	4月 1日	戸田市消防長に森茂善一氏就任する。
	4月29日	元戸田市消防団長、春山庄一郎氏、春の叙勲瑞宝単光章受章。
	4月29日	元戸田市消防司令、原島勝征氏、第6回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章。
	10月 1日	戸田市市制施行40周年記念式典が行われる。
	10月18日	消防署東部分署指揮車更新（マツダDBA-DY5W）。
	10月20日	戸田市予防技術資格者認定運用要綱を施行する。
平成19年	10月25日	第2分団普通ポンプ自動車更新（いすゞPB-NKR81N）。
	3月31日	戸田市消防長、森茂善一氏退職する。
	3月31日	戸田市消防団長、大沼一哉氏退団する。
	4月 1日	戸田市消防長に石井敏道氏就任する。
	4月 1日	戸田市消防団長に飯島義男氏就任する。
	4月29日	元戸田市消防団長、杉崎繁雄氏、春の叙勲瑞宝単光章受章。
	7月13日	元戸田市消防団長、大貫清明氏、死没叙勲、瑞宝単光章受章。
	11月26日	東部分署水槽付ポンプ自動車更新（ニッサンBDG-LK36C改）。
平成20年	12月 7日	化学車更新（ニッサンBDG-LK36C改）。
	12月21日	東部分署庁舎耐震補強工事が完了する。
	3月 7日	戸田市少年少女消防クラブ、財団法人日本防火協会より優良少年少女消防クラブとして表彰される。
	3月31日	戸田市消防団長、飯島義男氏退団する。
	4月 1日	戸田市消防団長に林魂明氏就任する。
	6月28日	荒川左岸水害予防組合水防演習、彩湖・道満グリーンパークにて行われる。
平成21年	11月14日	本署高規格救急自動車更新（トヨタCBF-TRH226S）。
	1月15日	消防署救助工作車更新（日野BDG-GD7JGWA改）。
	3月31日	戸田市消防団長、林魂明氏退団する。
	4月 1日	戸田市消防団長に秋元徳夫氏就任する。
	4月29日	元戸田市消防団第2分団長、熊木清高氏、春の叙勲瑞宝単光章受章。
	10月15日	第4分団普通ポンプ自動車更新（日野BDG-XZU334M）。
	10月19日	消防本部査察車更新（マツダDBA-CCEFV）。
11月 3日	元戸田市消防団長、萩原正秋氏、秋の叙勲瑞宝単光章受章。	

平成22年	12月11日	消防署梯子車更新（15m・日野BDG-GD7JGWA改）。
	2月2日	東部分署高規格救急自動車更新（トヨタCBF-TRH221S）。
	3月31日	戸田市消防長、石井敏道氏退職する。
	4月1日	戸田市消防長に小池佳且氏就任する。
	6月10日	元戸田市消防司令長、蓮沼義雄氏、死没叙勲、瑞宝双光章受章。
平成23年	11月3日	元戸田市消防監、瀬川岩男氏、元戸田市消防司令長、水村廣氏、第15回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章受章。
	12月1日	消防署水槽付ポンプ自動車更新（日野BDG-GD7JGWA改）。
	12月15日	東部分署サイレン吹鳴装置更新工事が完了する。
	1月14日	西部分署高規格救急自動車更新（トヨタCBF-TRH221S）。
	3月11日	東日本大震災発生。
平成24年	3月26日	緊急消防援助隊後方支援部隊として福島県（本宮市、福島市）に派遣（5月4日まで）。
	6月25日	荒川左岸水害予防組合水防工法実技訓練、彩湖・道満グリーンパークにて行われる。
	9月5日	東部分署梯子車更新（35m・LDG-FR1APBA）。
	11月3日	元戸田市消防副団長、植野忠義氏、秋の叙勲瑞宝単光章受章。
	1月24日	消防署指揮車更新（トヨタCBF-TRH226S）。
平成25年	3月16日	消防署災害支援車更新（いすゞSDG-FRS90S1）。
	3月31日	戸田市消防団長、秋元徳夫氏退団する。
	4月1日	戸田市消防団長に野島政雄氏就任する。
	4月29日	元戸田市消防団長、大沼一哉氏、春の叙勲瑞宝単光章受章。
	11月3日	元戸田市消防団第6分団長、栗原清氏、秋の叙勲瑞宝単光章受章。
平成26年	12月3日	東部分署水槽付ポンプ自動車更新（日野SDG-GD7JGAA改）。
	3月31日	戸田市消防長、小池佳且氏退職する。
	4月1日	戸田市消防長に矢口弘氏就任する。
	4月29日	元戸田市消防司令長、小林洋一氏、第20回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章受章。
	11月3日	元戸田市消防監、堀内正夫氏、第21回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章受章。
平成27年	12月2日	第3分団普通ポンプ自動車更新（日野TKG-XZU640M）。
	12月2日	消防署水槽付ポンプ自動車更新（日野SDG-GX7JGAA改）。
	1月21日	消防署高規格救急自動車更新（トヨタCBF-TRH226S）。
	3月31日	戸田市消防長、矢口弘氏退職する。
	3月31日	戸田市消防団長、野島政雄氏退団する。
平成28年	4月1日	戸田市消防長に森谷精太郎氏就任する。
	4月1日	戸田市消防団長に石井義和氏就任する。
	4月29日	元戸田市消防司令、小山修司氏、第22回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章。
	6月28日	荒川左岸水害予防組合水防演習、彩湖・道満グリーンパークにて行われる。
	10月8日	第1分団普通ポンプ自動車更新（日野TKG-XZU640M）。
	11月3日	元戸田市消防団長、飯島義男氏、秋の叙勲瑞宝単光章受章。
	2月23日	高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線システムが運用開始。
	3月13日	小型動力ポンプ付水槽車更新（日野QPG-FR1APEA）。
	3月31日	戸田市消防団長、石井義和氏退団する。
	4月1日	戸田市消防団長に針替一浩氏就任する。
	4月1日	高機能消防指令センター運用開始（消防無線のデジタル化）。
	4月1日	戸田市消防署組織規程の一部改正により、3交代制（3部制）を実施。
平成28年	4月1日	戸田市消防団条例を、機能別消防団の導入、団員定数を「94人から124人」に、入団資格を市内在住・在勤の「18歳から55歳未満」に、「休団制度」の導入、日額費用弁償の増額「2,800円から3,500円」に加算支給にと一部改正を実施。
	4月1日	戸田中央総合病院において派遣型救急ワークステーションの設置。
	4月2日	元戸田市消防団長、野島政雄氏、死没叙勲、瑞宝単光章受章。
	4月29日	元戸田市消防監、中村善太郎氏、第24回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章受章。
	4月29日	元戸田市消防団長、林魂明氏、春の叙勲瑞宝単光章受章。
	7月1日	機能別消防団員が誕生。（12名）
	9月9日	戸田市消防団機能別分団発足。
	11月3日	元戸田市消防副団長、熊木勝氏、秋の叙勲瑞宝単光章受章。
	11月17日	日本消防協会より消防団防災学習・災害活動車両（CBF-TRH226K）が寄贈される。
	1月15日	消防署高規格救急自動車更新（トヨタCBF-TRH226S）。
	3月6日	戸田市消防団、消防庁長官から消防団等地域活動表彰を受賞。
	4月29日	元戸田市消防監、川端嘉治氏、第26回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章、元戸田市消

		防司令、横山昇氏、第26回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章。	
	4月29日	元戸田市消防団第6分団長、峯岸榮一氏、春の叙勲瑞宝単光章受章。	
	5月30日	戸田市消防団長、針替一浩氏、埼玉県消防協会副会長・埼玉県消防協会第1ブロック会長に就任する。	
	10月1日	戸田市市制施行50周年記念式典が行われる。	
平成29年	11月3日	元戸田市消防司令、浅香善正氏、第27回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章。	
	3月1日	元戸田市消防団第6分団長、中村昭三氏、高齢者叙勲瑞宝単光章受章。	
	3月3日	消防署資器材搬送車更新(日野TKG-XZU775M)	
	4月29日	元戸田市消防監、森茂善一氏、第28回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章。	
	4月29日	元戸田市消防司令、萩原正一氏、第28回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章。	
平成30年	4月29日	元戸田市消防団長、秋元徳夫氏、春の叙勲瑞宝単光章受章。	
	6月1日	消防本部庁舎南側隣接地取得(756.59平方メートル)。	
	6月19日	消防本部外壁及び屋上防水改修工事。	
	6月24日	荒川左岸水害予防組合水防演習(戸田市・彩湖道満グリーンパーク)	
	3月1日	消防署資器材搬送車更新(日野TKG-XZU775M)。	
	3月6日	消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ車更新(日野2KG-GX2ABA)。	
	3月30日	神保国男氏、5期20年市長を勤め引退する。	
	3月31日	戸田市長に菅原文仁氏就任する。	
	3月31日	戸田市消防団長、針替一浩氏退団する。	
	4月1日	戸田市消防団長に酒井久之氏就任する。	
	4月1日	戸田市消防表彰取扱要綱の改正。	
	4月1日	戸田市消防団条例を、入団資格を市内在住・在勤の「18歳以上のもの」、基本団員の定年を「65歳」、班長以上の階級にある基本団員の定年を「70歳」と一部改正を実施。	
	4月29日	元戸田市消防司令長、吉住達三氏、第30回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章受章。	
	4月29日	元戸田市消防司令、大泉信一氏・澤登正勝氏、第30回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章。	
	4月29日	元戸田市消防副団長、荻野眞一氏、春の叙勲瑞宝単光章受章。	
5月30日	元戸田市消防団団長、針替一浩氏、埼玉県消防協会副会長・埼玉県消防協会第1ブロック会長を退任する。		
平成31年	10月1日	元戸田市消防団第1分団分団長、荘安右衛門氏、高齢者叙勲瑞宝単光章受章。	
	10月16日	消防署高規格救急自動車更新(トヨタCBF-TRH226S)。	
	11月3日	元戸田市消防司令、新井孝行氏・藤田信夫氏、第31回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章。	
	11月3日	元戸田市消防団副団長、江口一雄氏、秋の叙勲瑞宝単光章受章。	
	12月27日	戸田市消防本部、埼玉県消防学校への救急車寄贈に伴い、埼玉県知事、上田清氏から感謝状を贈呈される。	
	3月5日	公益財団法人日本消防協会会長より優良消防団として表彰旗を授与される。	
	3月31日	戸田市消防長、森谷精太郎氏退職する。	
	4月1日	戸田市消防長に栃本由兼氏就任する。	
	令和元年	5月21日	元戸田市消防司令、庄野晴夫氏、第32回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章。
		7月12日	無人航空機(ドローン)導入。
令和2年	10月1日	水害対策資器材(水上バイク)導入。	
	11月3日	元戸田市消防司令、荻野秀夫氏、第33回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章。	
	11月3日	元戸田市消防団団長、石井義和氏、秋の叙勲瑞宝単光章受章。	
	11月22日	消防署高規格救急自動車更新(トヨタCBF-TRH226S)	
	12月14日	戸田市消防団条例の一部改正、欠格条項の「成年被後見人又は被保佐人」を削除、免職を懲戒免職に改める。	
	3月31日	戸田市消防団長、酒井久之氏退団する。	
	4月1日	戸田市消防団長、清水稔氏就任する。	
	4月1日	消防職員定数 168名。	
令和3年	4月29日	元戸田市消防監、石井敏道氏、第34回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章受章。	
	4月29日	元戸田市消防団分団長、金子一雄氏、春の叙勲瑞宝単光章受章。	
	10月7日	小型動力ポンプ付水槽車更新(日野2RG-XZU640M)	
	11月3日	元戸田市消防司令、竹内秀幸氏、第35回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章。	
	11月3日	元戸田市消防団副分団長、永井一夫氏、秋の叙勲瑞宝単光章受章。	
	2月5日	消防署高規格救急自動車増車(トヨタ3BF-TRH226S)	
	2月26日	東部分署庁舎改修工事。	

- 3月31日 戸田市消防長、栃本由兼氏退職する。
- 4月 1日 戸田市消防長に再任用として栃本由兼氏就任する。